

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和2年10月～12月)

景況はやや改善。ただし今後は横ばいでしばらく景気の回復には至らないという見方が多い。不況が長引く中、各種支援策の継続を希望する声が上がっている。

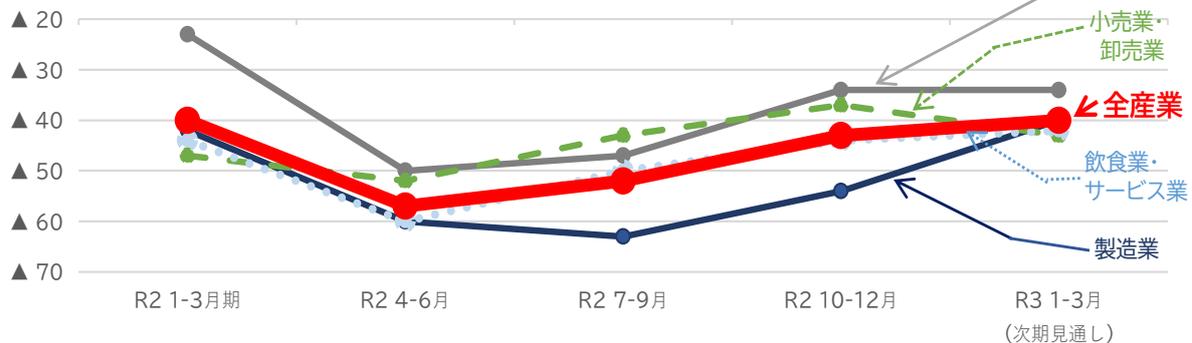
ポイント

- ▶ 令和2年10月～12月期の総合業況DIは▲43と、前期▲52から9ポイントの改善。前期が深刻な状況であった製造業(前期▲63、今期▲54)と建設業(前期▲47・今期▲34)は大きく改善した。飲食業・サービス業(前期▲50・今期▲44)および小売業・卸売業(前期▲43・今期▲37)は6ポイントの改善。
- ▶ コメントによると、全業種において新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しつつある。各種の給付金やキャンペーンが有効であったという事業者も多いが、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しない中、更なる制度の延長を望む声が上がっている。製造業や小売業では、自動車や食品関連など好況の業界と、それ以外の不況の業界と、業界による差が大きい。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲40と、今期▲43から3ポイントの改善。製造業(今期▲54・次期▲40)は大幅な改善を見込むが、飲食業・サービス業(今期▲44・次期▲42)、建設業(今期▲34・次期▲34)、小売業・卸売業(今期▲37、次期▲43)はほぼ横ばいの予測であり、最悪の状況は脱したものの厳しい状況が続くとみられている。

各業界から寄せられたコメント

- ・【電気機械器具製造】コロナの影響による受注減少のため、従業員の仕事がなく手が余っているが、短納期の受注などが入ってくるため、従業員を休業させることができない。
- ・【店舗内装工事】政府の補助金に助けられた感。雇用調整助成金は3月末まで延長してほしい。
- ・【学校用品】相模原市の39キャンペーン効果により、客数(売上)が良かったです。
- ・【不動産賃貸管理】新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、賃料減免や新規テナント募集の苦戦から売上が減少している。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前々期概況 (R2.4-6)	前期概況 (R2.7-9)	今期概況 (R2.10-12)	次期見通し (R3.1-3)
製 造 業	▲60	▲63	▲54	▲40
建 設 業	▲50	▲47	▲34	▲34
小 卸 売 業	▲52	▲43	▲37	▲43
飲 食 一 業	▲60	▲50	▲44	▲42
全 業 種 (総 合)	▲57	▲52	▲43	▲40

DI値 ▲9以上	DI値 50~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下

調査期間:令和2年10月1日～12月31日

回答率:28.2%

回答者数:1,037件

調査対象:当所会員事業所3,676社

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる